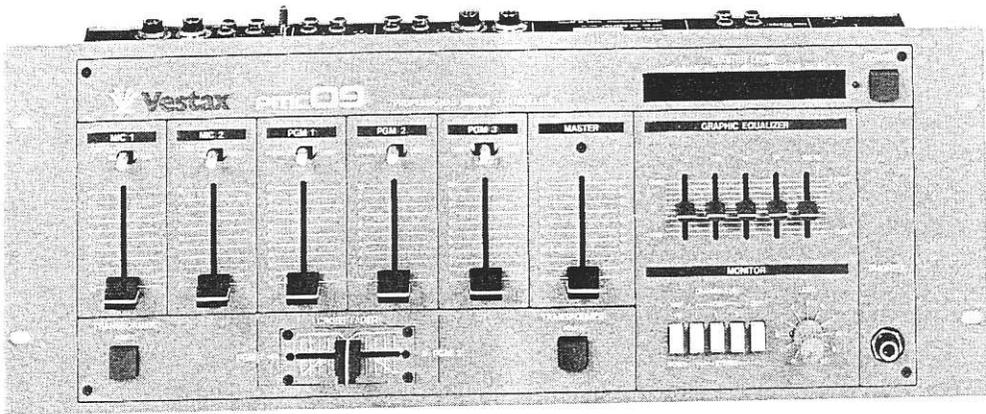


 Vestax[®]

PMC-09

OWNER'S MANUAL



ベスタクス株式会社

〒154 東京都世田谷区上馬2-37-1

電話 03-3412-7011 ファックス03-3412-7013

Printed in JAPAN

この度は、VESTAX PMC-09をお買い上げ戴き誠にありがとうございます。ご使用前に、本取扱い説明書を良くお読み頂けますようお願い致します。

仕様

入力レベル/インピーダンス

MIC 1. 2	-46dBV	3.3k Ω
LINE L/R	-10dBV	50k Ω
PHONO L/R	-42dBV	56k Ω

出力レベル/インピーダンス

OUTPUT L/R	-10dBV	10k Ω 以上
REC OUT L/R	-10dBV	10k Ω 以上
HEADPHONES	MAX	140mV/22 Ω 負荷

周波数特性

LINE~OUTPUT	20~25kHz	+0/-3dB
PHONO RIAA		± 1 dB

S/N比

LINE~OUTPUT	85dB(IHF-A WTD)
グラフィックEQ	± 12 dB以上

外形寸法

482×176×62mm

重量

3 kg

- ステレオ5バンド 25mmストロークの GEQは、様々な状況下での音質補正を容易に行い、プリマスターフェーダーの出力端子REC OUTは、オリジナルテープ録音や、サブアウトプットとして使用できます。
- 19インチ40サイズで、薄型設計。

ご注意

PMC-09の本体の保証期間は1年ですが、クロスフェーダー等をパーツの耐久力を越えた苛酷な使い方、例えばスクラッチ等でお使いになると、通常パーツの耐久時間として保証されている時間(1年)以上を1ヵ月の内にお使いになられる人があります。その場合の交換につきましては、弊社の判断により実費を請求させていただきます。また、パーツに無理な力を加えると破損することがありますので、本機の性能に疑問が生じた場合は、お買い上げの販売店が弊社までお問い合わせ下さい。

特徴

- PMC-09は、PMC-15に続くミドルサイズのNEWシリーズDJミキサーです。
- MIC×2系統、LINE×5系統、PHONO×2系統、計9系統の多入力仕様で、ターンテーブル、カセットデッキ、CD PLAYER、LD PLAYER等、多様化する様々な入力ソースに完全に対応します。
- 2チャンネルの独立したマイク、チャンネルを持ち、各々にLOW CUT SWが装置備されていることにより、耳障りな低音をカットでき、2本のマイクのレベルミキシングが自由に行えます。
- ベスタクス オリジナルのトランスフォーマースイッチは、トリッキーなトランスフォーマースクラッチを容易にし、今や世界中のDJミキサーメーカーが採用しているデータタッチャブルクロスフェーダーは、抜群のメンテナンス性とミキシングスタイルによってストロークの長さをチョイスできる自由度を誇っています。
- 初採用のステレオCUEシステムに、ビギナーでもわかりやすく、モニター音量もパワーアップされています。

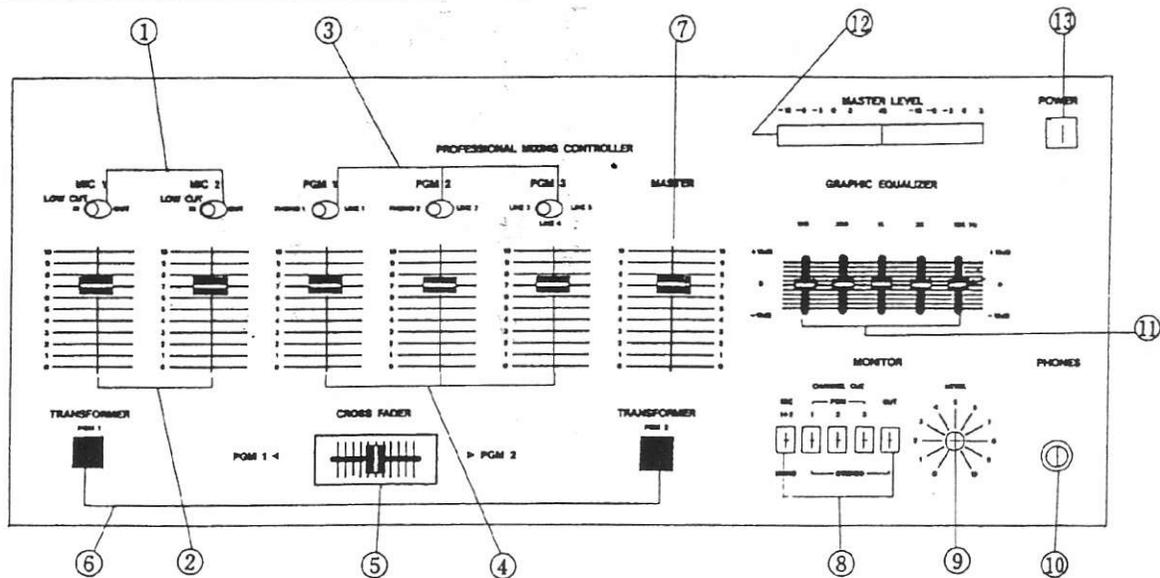
設置上のご注意

常温(5~35℃)、通風が良い、頑丈で電源電圧の変動が少ない場所に設置して下さい。アルコールやシンナー等の溶液で塗装面をふかないで下さい。塗装がはげることがあります。

安全上のご注意

- 電源アダプターはコンセントから抜く時は、必ずアダプターを持って抜いて下さい。無理にコードを引っ張ったりして抜くと、コードを傷めてしまいます。
- 水などに濡れた手でプラグを持ってコンセントに抜き差ししないで下さい。感電することがあり、大変危険です。
- ビニール等の被膜が切れたりこすれたりして、芯線が露出している電源コードをそのまま使用すると、感電や火災の原因となります。また、本機内部に水等の液体や可燃物およびピン等の金属類を入れないようにご注意下さい。感電や故障の原因となります。
- 本機外装のカバーは取り外して内部に手を触れないで下さい。この結果生じた損傷、感電や火災等について、当社はその責任を負いません。

名称及び操作方法



① LOW CUT SW(ローカットスイッチ)

MIC 1, 2 各々の入力信号の低音をカットするスイッチです。プレス音が気になる時や、音楽ソースを⑪グラフィックイコライザーでローブーストした時、このスイッチで低音をカットします。

② MAIN MIC (メインマイク入力フェーダー)

リアパネルにあるMAIN MIC JACKに接続されたメインマイクの入力レベルを調整します。

③ INPUT (入力ソース選択スイッチ)

各PGMに、どの入力を立ち上げるかを選択するスイッチです。プログラム毎に、リアパネルに接続された3つのステレオ入力ソースの中から選択できます。

プログラムは次のようになっています。

PGM-1……PHONO 1, LINE 1

PGM-2……PHONO 2, LINE 2

PGM-3……LINE 3, LINE 4, LINE 5

PHONO入力には、RIAAイコライザーが入っています。LINE入力には、CDプレイヤー、TAPE DECKの出力を接続して下さい。

NOTE: PHONO入力には、MMタイプのカートリッジのついたターンテーブルを接続して下さい。MCタイプのカートリッジをご使用になるときは、ヘッドアンプが必要となります。

④ LEVEL(チャンネル・レベル・フェーダー)

各チャンネルのインプットフェーダーです。通常7~8の位置でお使い下さい。

⑤ CROSSFADER (クロスフェーダー)

PGM2 と PGM3 の入力ソースをセンターでミックスします。クロスフェーダーを動かした時、ノイズが目立つようになったり、20mmフェーダー(CF-15S)や、ダイヤルユニット(CF-1)を

ご使用の際はクロスフェーダーユニットを交換して下さい。ユニットの取付けネジ(4本)と内部のコネクターで簡単に交換できます。

NOTE: クロスフェーダーユニットを交換する際には、取付け方向を良くご確認下さい。

⑥ TRANSFORMER (トランスフォーマーSW)

クロスフェーダーを左側、又は右側に振り切ったとき、反対側のスイッチを押した時だけのプログラム出力されます。このスイッチによりトランスフォーマースクラッチが容易に行えます。

⑦ MASTER LEVEL (マスターレベル)

リアパネルのLINE OUT端子から出力される信号のレベルを調整します。

⑧ CUE SELECTION

1~3のプログラム、マイクチャンネル、マスターレベルのキュー・モニター選択スイッチです。各々のボタンで選択したチャンネル、又は、マスターアウト信号をステレオモニターすることができます。

⑨ LEVEL (ヘッドフォン・ボリューム)

ヘッドフォンのモニターレベルの調整用ノブです。

⑩ PHONES (ヘッドフォン端子)

このジャックにヘッドフォンを接続して下さい。8~600Ωまで使用可能で、適正は150Ωです。

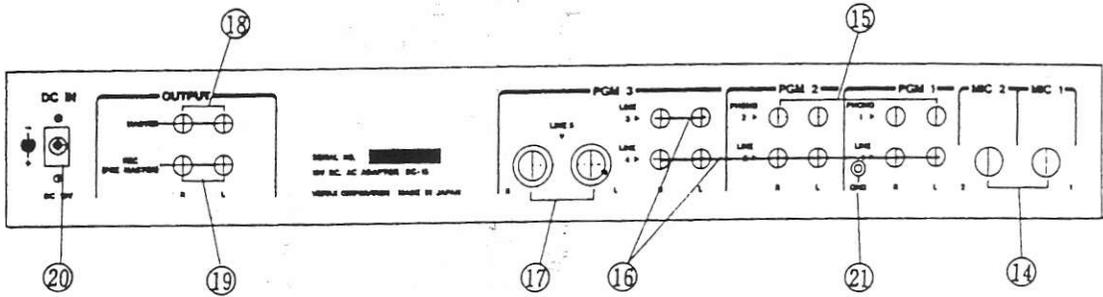
⑪ GRAPHIC EQUALIZER (グラフィックイコライザー)

100Hz, 300Hz, 1KHZ, 3KHz, 10KHzの各周波数帯域のレベルを、Lチャンネル、Rチャンネル同時にコントロールするグラフィックイコライザーです。

⑫ PEAK LEVEL (ピークレベルメーター)

LEDバーグラフにより、L, R の出力ピークを表示します。

⑬ POWER (電源スイッチ)



⑭ MIC 1, 2 <1/4 INCH PHONE JACK>

マイクの入力端子です。

⑮ PHONO INPUT L/R [1, 2] <RCA PIN JACK>

各PGMのターンテーブルの入力端子です。MMカートリッジのセットされたターンテーブルを接続して下さい。

⑯ LINE INPUT L/R [1~4] <RCA PIN JACK>

各ラインレベル機器の入力端子です。CDプレーヤー、テープデッキ、VTR音声出力を接続して下さい。

⑰ LINE INPUT L/R [5] <1/4 INCH PHONE JACK>

ラインレベル機器の入力端子です。

⑱ LINE OUT L/R <RCA PIN JACK>

マスター出力の不平衡出力です。パワーアンプの入力に接続して下さい。

⑲ REC OUT L/R <RCA PIN JACK>

マスターフェーダーを経由する前の信号が出力されますので、マスターフェーダーをゼロにしても出力されます。カセットデッキへの入力や、モニター等へのサブ出力としてご使用下さい。

⑳ DC IN

付属のACアダプターをつないで下さい。

㉑ GND (グラウンドターミナル)

各PGMのターンテーブルのアース端子を接続して下さい